

きららとちぎ

とちぎ市男女共同参画のつどい 2026.1.17(土)



標語コンテスト表彰・小学生の部



講師 木山裕策さん



女子野球タウン活動報告



標語コンテスト表彰・中学生の部



取組事例発表



事業者表彰

CONTENTS

男女共同参画「標語コンテスト」表彰	P2
「男女共同参画推進事業者」表彰	
木山裕策さん「講演会」	P3
パパ！っとおやこ料理教室(第2弾)	
モラルハラスメントのDV被害者への影響とその理解	P4
DVで悩んでいるあなたへ	



栃木市マスコットキャラクターとち介

バックナンバーはこちら





「標語コンテスト」表 彰

男女共同参画について理解と関心を深めることを目的に、小学5年生と中学2年生を対象に標語を募集し、コンテストを実施しています。

令和7年度は市内小学校から396作品・中学校から166作品の応募をいただき、選考の結果、最優秀賞1作品、優秀賞3作品が決定し、「男女共同参画のつどい」の会場で展示し、表彰式を実施しました。

入賞作品は今後の、男女共同参画社会の促進に活用させていただきます。

小学5年生の部

最優秀賞 藤岡小 坂本 莉央音

それぞれを 比べあうより 認めあう

優秀賞 大平南小 山田 衣織

こうじゃなきゃ それより大切 こうありたい

優秀賞 赤津小 落合 祐

誇り持て 自分の個性は 最上級

優秀賞 大宮北小 河田 峻佑

おんなのこ おとこのこ
どちらも同じ 元気な個

中学2年生の部

最優秀賞 藤岡中 大田和 柚波

好きな色 自分が好きなら それでいい

優秀賞 栃木西中 三枝 咲稀

こうだから 決めつけないで ぼくをみて

優秀賞 藤岡中 宇田川 結加

捨てないで あなたの個性は
あなただけ 尊重しよう 自分らしさを

優秀賞 都賀中 米村 希々叶

かくさないで あなたの個性 すてきだよ



「男女共同参画推進事業者」表 彰

栃木市では、男女共同参画社会の更なる推進を目的に、ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画の推進などを積極的に行っている事業者の取組を広く市民に周知するため、『栃木市男女共同参画推進事業者表彰』を行っています。

表彰事業者



栃木市万町9-28

事業内容

金融業

取組内容

- *子育てをしながら就労しやすい労働環境の整備
- *子育てに配慮した有給休暇の取得の促進
- *特別休暇制度の創設
- *女性の活躍推進や女性管理職の育成

☆表彰の様子や取組内容を市ホームページに掲載しています。
ぜひご覧ください。



つどいホームページ

木山 裕策 さんによる「講演会」



「子育てで深めよう家族の絆」 ～木山家流ワークライフバランスのすすめ～



今の家庭に必要なことを自身の体験を交えながら話してくれた。一生懸命な思いが伝わり自然と涙が出てきた。

(60代 女性)

講師の木山裕策さんは、ご自分ががんを発症したことで人生を見直されたそうです。今まで人生について考えたことがなかったことに気づき、家族の中での自分の役割について考えたとのことでした。

そして、4人のお子さんの子育ての中で、『子どもの心を育てる子育て』を心がけ、どんな時代でも強く生きていける人になってほしいとの思いから、家族間でのトークタイムをたくさん持つことにしたそうです。

家族と話す中で、自分の気持ちを伝えたり相手の考えを理解したりすることは、とても大切なことだと熱く語られていました。

そして、最後にはミニコンサートと題して、素敵な歌声も披露してくださいました。



内容が自分と重なって共感できた。残りの人生をちゃんと考えて過ごしていきたい。(60代 男性)

木山さんの真面目な生き方、がっちり組んだ温かい家族構成など講演内容が本当によかった。(70代 女性)

つどい(2026.1.17)
参加者 500名



第6回男女共生大学パパ！っと おやこ料理教室(第2弾)



前回大変好評を博した「パパ！っとおやこ料理教室」の第2弾を12月21日(日)に実施しました。今回もsottodeli店主の栗原碧さんを講師に迎え、クリスマスにぴったりの「ピザパイ」「いちごのティラミス」「ノンアルコールサングリア」の3種類の料理に挑戦しました。



先生のお手本を見て



親子で料理開始！



料理完成！みんなで楽しく会食の時間



参加者へのインタビュー



Q 家庭では料理をしていますか？

- * イベントの時にやるくらい
 - * 今までは簡単な料理しか作らなかった(父)でも、おいしかったよ(子)
 - * 今回参加して少し料理をやってみたい気持ちになった【取材を終えて】
- ほとんどの方から「楽しく子どもたちと料理することができた」「今後もやってみたいと思う」との感想をいただきました。しかも、みんな後片付けが早くてきれいなのでびっくりしました。

第5回男女共生大学〈2025.12.2(火)〉

「モラルハラスメントのDV被害者への影響とその理解」

～心理的・精神的な暴力の実態や被害、心の回復について～

認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ カウンセラーの藤平 裕子さんにお話を伺いました。

多くのDV被害者は誰にも相談しておらず、その理由として、半数が相談するほどのことではないと思ったと回答しているそうです。「言葉や態度によって人の心を傷つけるのが精神的暴力(モラルハラスメント)で、暴力だとはわかりにくく周囲は気付かないことが多い。本人ですら気付かず、受け続けることで深く傷つき大きなダメージを受ける。被害者への支援には、周囲がそれが暴力であることに気付き、専門機関への相談を勧めることが必要だ」とおっしゃっていました。

下記は先生がご用意くださった「意識チェック」です。DVへの理解度を試してみてください。



講師：藤平 裕子さん

自分の意識をチェックしてみよう

- ・精神的暴力もモラハラも、夫婦間のコミュニケーションの不足が原因と思う ()
- ・暴力を振るわれても、別れない女性の方にも問題があると思う ()
- ・夫婦間の暴力は、両方から話を聞いてみないとわからないと思う ()
- ・生意気だ、気がきかない、素直じゃないなど、女性の方にも悪いところがあれば、夫から多少暴力を振るわれてもしかたないと思う ()
- ・無視される、怒鳴られるなどで、精神的暴力だと騒ぎすぎると思う 最近の人は弱すぎると思う ()

これらは、被害者をさらに苦しめてしまうことにもなる考え方です。

DVに悩んでいるあなたへ 相談してください

栃木市配偶者暴力相談支援センター	TEL 0282-21-2218
栃木警察署	TEL 0282-25-0110
とちぎ男女共同参画センター相談ルーム	TEL 028-665-8720
認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎ	TEL 028-621-9993

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や交際相手など親密な関係にある男性から女性へ(女性から男性へ)の暴力をいいます。



電話・メール 24時間受付
チャット相談 12:00~22:00

電話 24時間受付 0120-279-889

困難を抱える女性LINE@とちぎ
・火曜日と土曜日の15時~22時まで
2次元コードを読み取るか、以下のURLを入力して
登録してください。 <https://lin.ee/inKys5f>



チャット 受付12:00~22:00
チャットはこちら
※スマートフォンからは右のQRコードよりご利用ください。



編集後記

- ・インタビューなどに行って、自分も参加することによって前より広報紙の編集に携わっているという実感がわいています。
 - ・男女共同参画に関して、今の若い世代の方たちと自分たちの世代の考え方の違いを痛感しています。
- 飯嶋・寺内・中島・森田